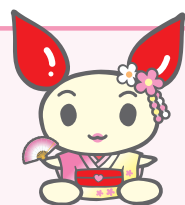


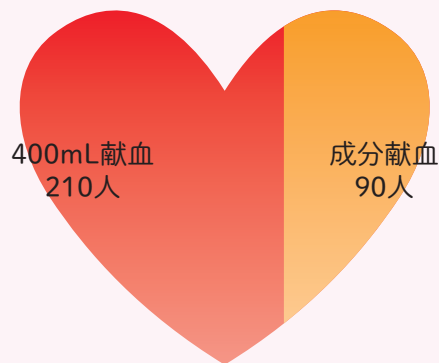
京都府では1日300人の 献血ご協力が必要です。



京都府で1日に必要とされる献血者数は300人です。

令和2年度京都府献血推進計画をもとに1日当たりの必要数を算出しています。輸血を必要とされている方を支えるためには、皆様のご協力が欠かせません。

1日300人の内訳



おたより紹介

●献血について、まだ知らないことがたくさんあり勉強になりました。(S.Tさん)

献血ingで
知識を深めて
もらえてうれしいっ♡



今号の表紙

令和2年4月、京都精華大学デザイン学部ビジュアルデザイン学科の和田晴香さんにデザインしていただいた看板が献血バス（はくあい号）に設置されました。街中で献血バスをお見かけの際は、ぜひ後方の看板をチェックしてみてください☆

【作者のコメント】リラックスした猫たちのしなやかさを日本らしい浮世絵風味で描きました。クスッと笑えるような表情をした猫たちをみて、献血前も献血後もリラックスしてもらえるように意識しました。

編集後記

仕事が休みの日にはなるべく子供たちと過ごそうと思っていますが、2歳前でイヤイヤ期に突入した双子は想像以上に壮絶です。朝の着替えて反り返って嫌がる二人に、すでに心が折れてしまいます。

毎日、保育所にいくまでのドタバタは凄まじいようですが、一人でこなす母親は本当に偉大であると改めて感じました。(魔の2歳に恐怖を感じる双子の父M)

プレゼント企画



献血検定

次の空欄に当てはまる数字を教えてください。

令和元年度、
京都府の献血ご協力者数は
〇〇〇,〇〇〇人。

正解者の中から、抽選で10名様に記念品を差し上げます。

〈応募要項〉

- ①クイズの答え
- ②献血ingをどこでみましたか？
- ③献血ingへのご意見・ご要望
- ④住所・氏名

〈宛 先〉

〒612-8451
京都市伏見区
中島北ノ口町26番地
京都府赤十字血液センター
「献血ing」係

応募メ切／令和2年10月19日(月)消印有効
前号の答え／ラブラッド
記念品／ハンドタオル



●当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※プレゼント企画の応募等に関する個人情報は、記念品発送の目的以外に利用することはありません。

初めての400mL献血大歓迎！

男性 17 歳 女性 18 歳 から



献血ing

けんけついんぐ

98
2020.7.20

令和2年7月20日発行

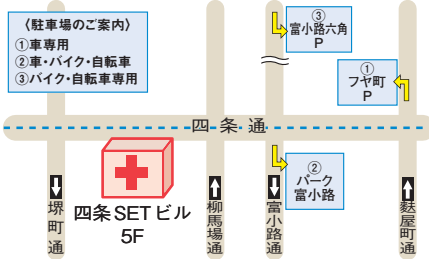


特集

●令和元年度献血状況報告
●「献血が必要な理由」と
「血液センターの新型コロナウイルス感染予防策」

献血ルーム 四条

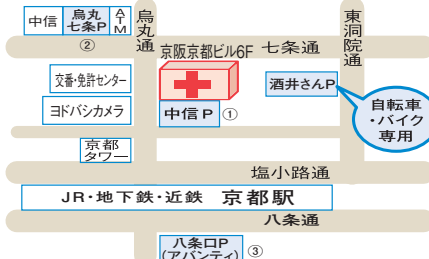
0120-640-388



献血受付 毎日 (年未年始を除く)
10:00～12:00 / 13:00～18:00 (成分献血は17:00まで)
※土日祝の成分献血は16:00まで

献血ルーム 京都駅前

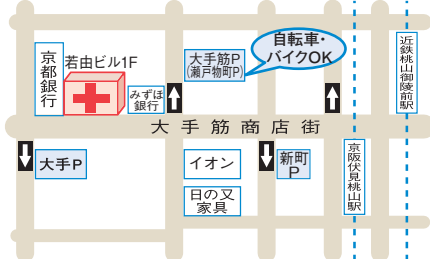
0120-569-356



献血受付 毎日 (年未年始を除く)
10:00～12:00 / 13:00～18:00 (成分献血は17:00まで)
※土日祝の成分献血は16:00まで

献血ルーム 伏見大手筋

0120-731-350



献血受付 毎日 (年未年始を除く)
10:00～12:00 / 13:00～18:00 (成分献血は17:00まで)
※土日祝の成分献血は16:00まで

献血の情報や日程は、こちらからご確認いただけます。

京都献血 で 検索 <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/kyoto/>



京都府赤十字血液センター公式アカウントの
フォロー、いいね、リツイート 大歓迎です！

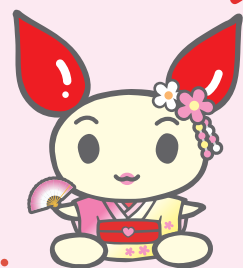


日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

京都府赤十字血液センター

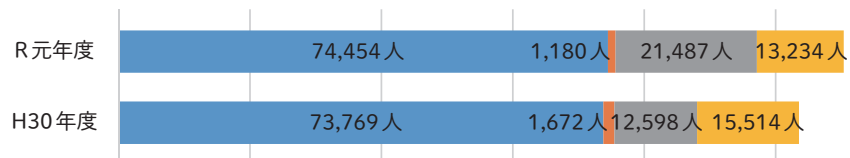
令和元年度、京都府では

110,355人に



献血のご協力を
いただきました！
皆様、ありがとう
ございました！

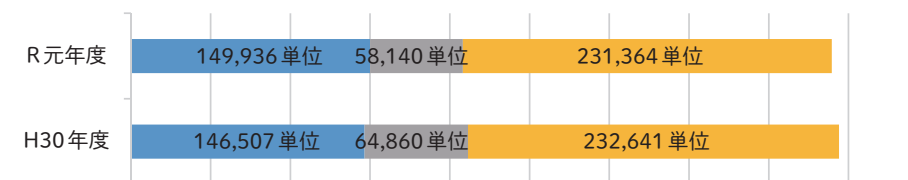
献血種類別献血者数



	H30年度	R元年度
■ 400mL	73,769人	74,454人
■ 200mL	1,672人	1,180人
■ 血漿	12,598人	21,487人
■ 血小板	15,514人	13,234人

献血者数は昨年度と比較すると、全体で6,802人増加しました。
内訳は、400mL献血が685人の増加、200mL献血は492人の減少、成分献血(血漿・血小板)は6,609人増加しました。

医療機関への輸血用血液製剤供給単位数



	H30年度	R元年度
■ 赤血球製剤	146,507単位	149,936単位
■ 血漿製剤	64,860単位	58,140単位
■ 血小板製剤	232,641単位	231,364単位

医療機関にお届けした血液製剤は、439,440単位です。昨年度と比較すると、赤血球製剤は3,429単位増加、血漿製剤は6,720単位減少、血小板製剤は1,277単位減少しました。

※200mL献血=1単位、400mL献血=2単位、成分献血は4～20単位で換算します。

献血が
必要な理由

血液センターにおける
新型コロナウイルス
感染予防策

新型コロナウイルスの感染症が急激に広がる中、血液センターでは様々な予防策を講じ、献血にお越しいただいた方にとって安心安全な献血会場の運営に取り組みました。
緊急事態宣言下でも献血が必要な理由と、どのような予防を行っていたのかをご紹介します。

献血が必要な3つの理由

- ① 毎日、輸血を必要としている人がいる
京都府では1日に300人の献血ご協力が必要です
- ② 血液は人工的に造ることができない
iPS細胞などの研究は進んでいますが、必要な量の血液はまだ人工的に造ることができません
- ③ 血液は長期保存することができない
血液製剤の有効期間は採血してから・・・

赤血球製剤

21日間



血小板製剤

4日間



血漿製剤

1年間



献血会場での新型コロナウイルス感染予防策



- 献血会場入口での体温測定の実施
- 献血会場入口および採血室入室前の手指消毒のお願い
- 必ず、マスクの着用
- 受付、問診、採血前検査のコーナー、採血ベッド間に飛沫を防ぐビニールシートを設置



- タッチパネル、タッチペン、血圧計等の定期的な消毒を実施
- 献血会場の換気
(献血ルーム入口扉の常時開放、献血バスの終日換気等)



職員の感染予防策

- 日々実施している健康チェックに加え、出勤前、出勤時に体温測定を実施
- 出勤時、献血会場入退室時の手指消毒を実施
- 採血室入室時の手洗いまたは手指消毒を実施
- 看護師は献血者ごとの手袋交換及び手袋着用前後の手指消毒を実施
- 職員のマスク着用

献血ルームでの献血予約

- 献血ルーム内の混雑緩和と献血者の待ち時間短縮のため、事前の献血予約のお願い

